

ガローシ釉の寄贈ありがとうございます

陶芸家 宇江城昌順さん

久米島博物館では、陶芸家、宇江城昌順さん（久米島町出身・在住）から、島に流れ着いた軽石と、久米島産100%の土を使った陶器の寄贈を受けました。

軽石からつくられた釉薬（陶磁器の表面を覆うガラス質）は、久米島での方言名にちなんで「ガローシ釉」と命名されました。宇江城さんは、観光や産業に大きな損害を与えた軽石を焼き物の釉薬原料に使えないかと考え、2か月間、試行錯誤を重ねたそうです。

宇江城さんの「ガローシ釉」の作品は沖縄県立博物館・美術館の常設室にも展示されています。久米島博物館でも、6月1日からロビーに展示していますので、ぜひご覧ください。



沖展受賞おめでとうございます

桃原禎子さん・仲地洋子さん・吉浜博子さん

沖縄県内最大の美術・工芸の公募展総合美術展、第73回「沖展」（沖縄タイムス社主催）において、工芸6部門のうち織物部門で、準会員賞に桃原禎子さん（久米島町出身・在住）が選ばれ、沖展賞に仲地洋子さん（久米島町出身・在住）が選ばれました。また、当町郷友の吉浜博子さん（那覇市在住）が同部門で浦添市長賞に選ばれました。桃原さんは、これまでに沖展において複数回受賞しており、今回、沖展会員に推挙されました。3月20日には表彰式が浦添市のアイム・ユニバースでこホールで行われ、受賞を喜びました。展示会は、3月19日から4月3日の期間、ANA ARENA浦添にて行われました。



行政相談委員委嘱状交付式

行政相談委員 新垣希さん

4月12日に本町の新たな行政相談委員として、新垣希さんへ総務大臣からの委嘱状の交付式が沖縄行政評価事務所長により行われました。

行政相談委員は総務大臣から委嘱を受けた民間のボランティアで、行政機関に関する要望や苦情を受け、その解決・実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かせるよう取り組んでいます。



きれいな海を守ろう

ハテの浜清掃

去る4月24日、観光協会によるハテの浜ビーチクリーンアップを総勢42名のボランティアの皆様と行いました。感染症の影響により、人数制限をしながらではありましたが、3年ぶりの開催となりました。ハテの浜に漂着している多くのごみは、日本以外にも外国から流れついてくるものも多く、どのようなごみが流れ着いてくるのか、調べる必要があります。ペットボトルや漁具、ゴム製品など分別作業を行い、1トン袋10袋以上を回収しました。参加した方は「一つでも多く拾って、綺麗なハテの浜でみんなを喜ばせたい」と話していました。